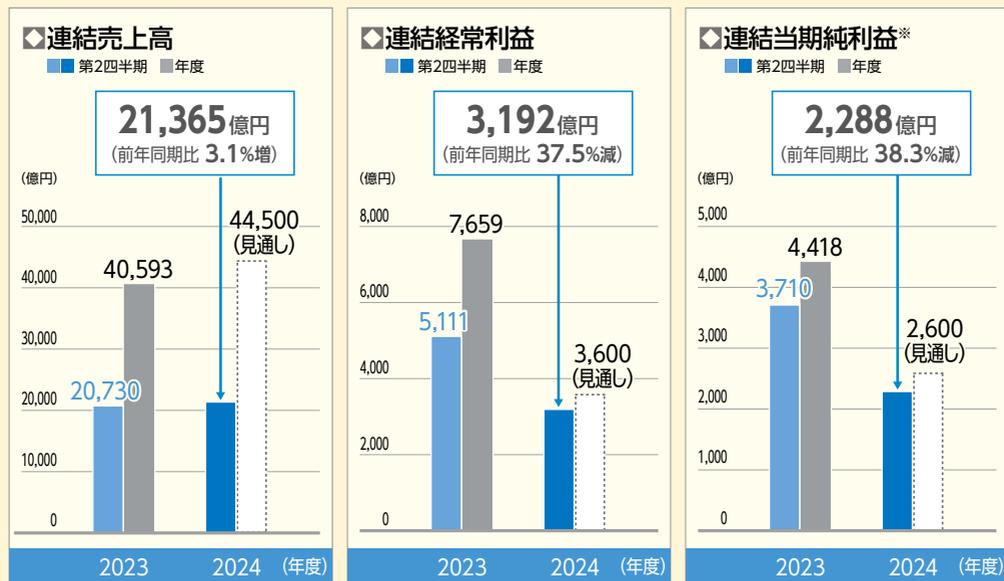


# KANDEN REPORT

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜わり、厚くお礼を申し上げます。  
2024年度株主通信をお届けいたします。

## Financial Highlights (2024年度 第2四半期)

- ✓ 販売電力料収入が増加したものの、燃料費調整制度による収入の減少等により、経常利益ベースで2年ぶりの増収減益。
- ✓ 通期の見通しにおいては、為替・燃料価格等の変動による影響などにより、増収・減益の見通し。
- ✓ 2024年度の中間配当は、株主還元方針のもと、1株当たり30円としております。



■ 決算等に関する詳細情報は、当社ウェブサイトにてご確認ください。>>



当社の取組みにつきまして、以下の資料もあわせてご覧ください。

関西電力グループ  
統合報告書 2024 >>

当社グループの持続的成長を実現する価値創造ストーリーをお伝えするために、当社の取組みを体系的に開示しております。



関西電力グループ  
ESGレポート 2024 >>

統合報告書やウェブサイト等で開示しているESG関連情報を一元的に集約し、充実化しております。



当社グループは中期経営計画の達成やゼロカーボンビジョンの実現に向けグループ一丸となって、エネルギー事業をはじめ様々な分野で取り組みを進めております。各トピックスの詳細は🔍よりご覧いただけます。

2月 🔍 OPTAGE 🔍 人に、街に、明るい未来を 関電不動産開発

「シエリアタワー中之島」におけるオンライン診療サービス導入の決定

7月 🔍 かんもび Move

AIを活用した相乗り移動サービス箱根町での「カンモビ Move」実証開始の決定

■「関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)」のアップデートについてはこちら 🔍

■「関西電力グループゼロカーボンロードマップ」の改定についてはこちら 🔍

7月 🔍 日本郵政グループとの協業 全国初の既設郵便局ZEB化の決定



9月 🔍 2025年日本国際博覧会会場へのゼロカーボンの電力供給の決定



©Expo 2025

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

1月 🔍 **フィンランド共和国最大級の陸上風力発電事業商業運転開始**  
～アラヤルヴィ陸上風力発電事業～

当社が参画しているアラヤルヴィ陸上風力発電事業は、2023年12月21日、商業運転を開始しました。本事業の合計出力は約22万kWで、フィンランド共和国で最大級となります。



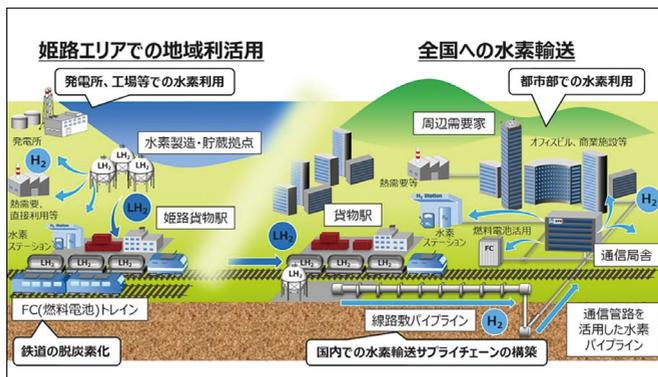
4月 🔍 **南港発電所における高効率コンバインドサイクル機への設備更新の決定**

電力の安定供給およびエネルギーの脱炭素化への貢献を目的として、コンバインドサイクル機への設備更新計画を進めています。本計画により、南港発電所における発電効率は約4割向上し、CO<sub>2</sub>排出係数を約3割低減することが期待できます。



6月 🔍 **姫路地区を起点としたグリーン水素の大規模輸送・利活用に向けた調査の開始**

NEDO※の助成事業として大規模で低コストかつ低炭素な水素輸送を確立するため、鉄道や通信用管路といった既存インフラを活用した水素輸送方法等に関する調査、技術開発を、当社のほかから社と協業してまいります。



※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

8月 🔍 **IoTを活用した、みまもり新サービス「MAMOLEO(マモレオ)」提供開始**



「MAMOLEO」は、IoTを活用することで、家ナカ(屋内)・家ント(屋外)を問わず自宅や家族をみまもることができ、さらに、いざという時の駆けつけまで備えた最新のセキュリティサービスです。当社グループのオペレーティングと関電SOSの合併後、初の共同事業です。

家ナカ		家ント	
屋内カメラ 子どもをみまもり	人感センサー 動きを探知	開閉センサー ドア開閉を確認	GPSタグ 位置情報を確認

# 再生可能エネルギーの主力電源化に向けて

当社グループは、ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、開発ポテンシャルの大きい洋上風力を中心に、エンジニアリングや販売面も含めた開発推進体制を強化し積極果敢に再生可能エネルギー開発に取り組んでいます。開発目標として、2040年までに国内で1兆円規模の投資を行い、新規開発500万kW、累計開発900万kW規模を目指します。

秋田港及び能代港（着床式）  
（提供：秋田洋上風力発電株式会社）

## 洋上風力

### ノルウェー王国におけるゴリアテヴィンド浮体式洋上風力プロジェクト

#### プロジェクトの概要

当社は2023年8月に本プロジェクトに参画し、現在、ソースガリレオノルゲ社、オドフェルオーシャンウィンド社と共同で事業を実施しています。当社初の大きさとなる単機出力1.5万kWの風車を乗せた浮体設備5基（合計7.5万kW）を建設する浮体式洋上風力の発電事業であり、2028年中の商業運転開始を目指しています。

#### 当社が浮体式洋上風力の開発を進める意義

浮体式洋上風力は、世界的に見ても商業規模での操業実績が少ない新しい分野ですが、排他的経済水域を含む浮体式洋上風力に適した海域を広く有する日本においては、開発ポテンシャルが非常に大きく、当社の再生可能エネルギー開発目標達成には不可欠な電源です。



ゴリアテヴィンド発電所  
（イメージ）

#### 進捗状況、今後の展開

オドフェルオーシャンウィンド社が設計する浮体設備「Deepsea Star」に関する設計状況の監理、浮体や海上設備の建設・保守点検計画に取り組んでいます。商業運転に向けて風車や浮体設備などの大型化が進んでいますが、建設コストの低減のほか、港湾施設や建設機械を含めた供給体制の確立といった課題もあわせて解決していく必要があります。



Deepsea Star

欧州の浮体式洋上風力建設技術は、海底石油設備技術の応用により、世界的に見てもかなり進んでいます。基地港の環境が日本とノルウェーで異なることもあり、建設等においてはそのまま応用できない部分もありますが、この経験を通じて、浮体式洋上風力に関する知見を深め、将来的には日本および海外での当社浮体式プロジェクトに役立てたいと考えています。



再生可能エネルギー事業本部  
技術グループリーダー  
浅香 遼

## 太陽光

### 国内の太陽光発電事業を投資対象とするファンドの設立

#### 当社が再生可能エネルギーファンドを設立する意義

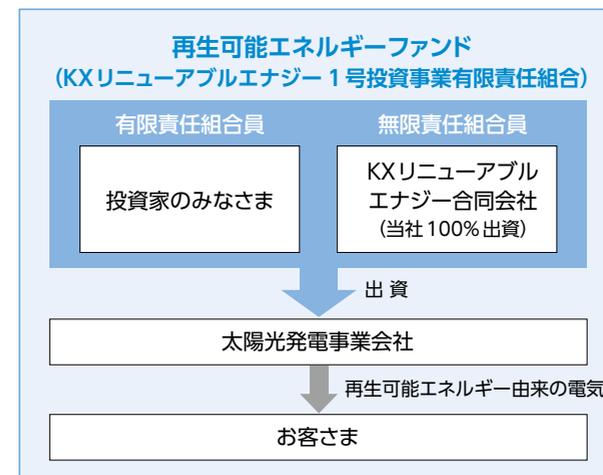
投資家のみなさまに対してESG投資の機会をご提供しつつ、価格競争力の高い再生可能エネルギー（太陽光発電）を開発することを目的に、当社初の再生可能エネルギーを投資対象としたファンドである、KXリニューアブルエナジー1号投資事業有限責任組合を設立しました。

本ファンドの活用等も通じながら、再生可能エネルギー由来の電気と環境価値をお客さまにご提供することにより、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

#### 再生可能エネルギーファンドの仕組み

当社が出資するKXリニューアブルエナジー合同会社が、無限責任組合員として再生可能エネルギーファンドを運営しています。

投資家のみなさまから本ファンドに投資していただき、本ファンドが出資する太陽光発電事業会社が太陽光発電所を開発し、お客さまに再生可能エネルギー由来の電気と環境価値をお届けします。



#### 進捗状況、今後の展開

現在、発電所の開発やお客さまとの電力需給契約の締結を進めており、2025年3月頃から順次、お客さまへの電気の供給を開始する予定です。

今回の再生可能エネルギーファンドの設立を通じ、投資家のみなさまのESG投資に対する強いニーズを実感しており、投資家のみなさまからのご期待と、再生可能エネルギー由来の電気をお求めいただくお客さまのニーズに応えるべく、太陽光発電所の開発を着実に進めていきたいと考えています。

また、今後も地域のみなさまからのご理解をいただきながら、ファンドの活用も含めて太陽光発電の開発を進め、ゼロカーボン社会の実現に貢献していきたいと考えています。



再生可能エネルギー事業本部  
事業開発第一グループ マネジャー  
佐藤 圭

# 原子力発電所の長期運転に向けた取組み

当社グループは、安全最優先を大前提に、原子力を最大限活用し、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

## 国内初の長期施設管理計画の認可 大飯3、4号機の取組み

原子炉等規制法が改正され、原子力発電所に対する新たな高経年化規制として、長期施設管理計画の認可制度が導入され、2025年6月に施行されます。当社は、原子力のリーディングカンパニーとして、この制度にいち早く対応し、2023年12月に国内で初めて大飯3、4号機の申請を行い、2024年6月に認可を受けました。

### 長期施設管理計画の認可制度の概要

従来の運転期間延長認可制度と高経年化技術評価制度を組み合わせる形で統合し、運転開始30年から10年を超えない期間ごとに、発電所設備に対する将来の劣化を予測・評価するとともに、評価結果に基づく追加保全策を策定し、新たな要求事項となる製造中止品に対する管理等についてとりまとめた長期施設管理計画を原子力規制委員会へ申請し、認可を受ける制度です。

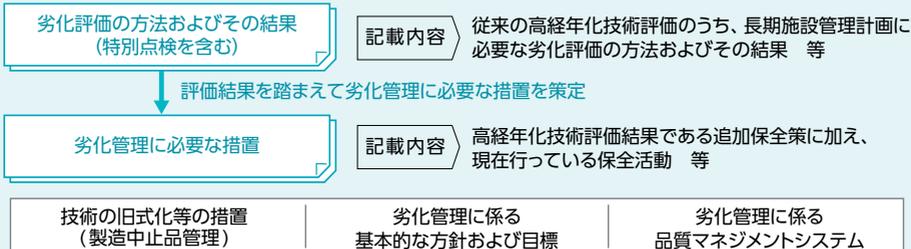


原子力事業本部  
安全管理グループ  
後藤 翔平

長期施設管理計画の策定、審査対応業務を担当しています。大飯3、4号機の審査においては、従前の劣化評価に加えて、新たな要求事項となる製造中止品に対する管理や現在行っている保全活動等について丁寧な説明を重ね、今年6月に原子力規制委員会から30年以降運転における長期施設管理計画の認可を受けました。運転を継続する発電所は、2025年6月の施行日までに長期施設管理計画の認可を受ける必要があることから、大飯3、4号機の経験を踏まえ、美浜、高浜も順次対応しているところです。

### 長期施設管理計画

#### 長期施設管理計画の期間（10年間）



# 系統用蓄電池事業への参入

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、再生可能エネルギーの導入拡大が進む一方で、再生可能エネルギーの出力抑制や調整力の確保が課題となっています。本事業では、調整力の供出や再生可能エネルギーの余剰電力の吸収、需給ひっ迫時の放電が可能であり、これらを通じて、課題解決へ貢献してまいります。

## 本年中の事業開始を目指す 紀の川蓄電所の取組み

当社は、2022年6月にオリックス株式会社と共同で紀の川蓄電所合同会社（当社とオリックスの折半出資）を設立しました。蓄電所の規模は国内トップクラスの48MW/113MWhで、2024年内の運用開始を目指し、現在建設中です。

運用は子会社のE-Flow 合同会社に委託し、当社グループ全体の収益拡大にも貢献します。



詳しくは>>



紀の川蓄電所



ソリューション本部  
蓄電池事業グループ マネジャー  
上田 瞬

# ハイパースケールデータセンター (HSDC) 事業への参入



2023年5月、当社は世界トップクラスのデータセンター開発・運用事業者である米国のCyrusOne社と「関西電力サイラスワン株式会社」を設立し、HSDC事業に参入しました。2024年9月、京都府相楽郡精華町における第1号案件「OSK1」の計画を公表し、開発を進めております。

## 京都府精華町における第1号案件 (OSK1) の開発

### HSDC および OSK1 の概要

詳しくは>>

データセンター (DC) とは、サーバーをはじめとするIT機器等を収納して運用するための施設であり、そのうち規模が非常に大きいものを「HSDC」と呼びます。国内のクラウドサービス利用は今後も拡大し、HSDC市場は高成長が見込まれています。OSK1は、総受電容量70MWを誇る大規模DCであり、国内のデジタル化推進に貢献するインフラです。2027年度中の営業開始を目指し、2024年9月から土地造成工事を開始しております。



地鎮の儀  
エリック・シュワルツ CEO (左)  
森社長 (右)

## 株主さまアンケートにご協力をお願いします！

株主のみなさまからの貴重なご意見・ご要望を今後の株主さま向け活動等の参考とさせていただきますため、株主さまアンケートを実施いたします。(所要時間：5分程度)  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

## ● アンケートご回答の締切

**2025年1月9日(木) 23:59**

※アンケート回答にかかる通信料は、株主さまのご負担となります。  
※アンケート回答には、株主番号(配当金計算書等に記載)が必要となります。

アンケートに  
回答する

ご回答いただいた株主さまの中から  
抽選で100名さまに読書発電所をデザインした  
当社オリジナルQUOカード500円分を進呈します！



※画像はイメージです。  
実際のQUOカードとはデザイン・仕様が一部異なる場合がございます。  
※QUOカード当せんの発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
(発送は2025年1月末頃を予定しております。)

よみかき  
読書発電所について

読書発電所は、長野県木曽郡にある水力発電所です。“電力王”と呼ばれた福沢桃介によって1921年に着工され、運転開始した1923年当時では日本一の出力4万700kWを誇っていました。1994年には国の近代化遺産として指定され、運転開始から100年経った今も、現役の発電所として活躍しています。

当社の水力発電の軌跡について  
もっと知りたい方はこちら

## 前回のアンケート結果を踏まえた取組み

## 株主さまの声

株主向けのイベント  
を充実させて欲しい

株主さま向け施設見学会について、蹴上発電所(水力)に加え、大飯発電所(原子力)を追加しました。

新規事業や海外事業に  
ついてもっと知りたい

今回の株主通信では、国内外の再生可能エネルギー事業や、データセンター事業について特集記事を掲載しました。

## 当社の取組み

■ 前回のアンケート結果はこちら>>[📄](#)

## 株主さま向け施設見学会を実施しました！

株主のみなさまに当社事業へのご理解をいっそう深めていただくため、株主さまを対象とした施設見学会を開催しております。

本年度は、大飯発電所(原子力)と蹴上発電所(水力)の見学会を実施いたしました。

現地スタッフによる説明を交えながら、発電所構内や関連施設をご見学いただき、参加者のみなさまからは大変ご好評をいただきました。

今後も、より多くの株主さまに末永くご支援いただけるよう、  
ご意見・ご要望等を踏まえながら、株主さま向けイベントを企画してまいります！

## 〈ご参加者の声〉

普段は入れない設備を  
間近で見学でき、  
貴重な体験ができた。

ライフラインを支えるため、  
懸命に業務に取り組んで  
おられる姿に感銘を受けた。



## 株式事務のご案内

■ 電子提供制度開始に伴い、株主総会資料は原則ウェブサイト上でご確認いただくことになります。  
制度に関する詳細は、下記の「電子提供制度に関するお問い合わせ先」をご覧ください。

電子提供制度に  
に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電子提供制度専用ダイヤル ☎️ 0120-696-505

概要・よくあるご質問 >> 📄 書面交付請求のお手続き >> 📄

■ 株式に関する各種お手続きについては、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

株式に関する  
お手続きの  
お問い合わせ先

- 証券会社の口座で管理されている株主さま  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社に口座をお持ちでない(特別口座で管理されている)株主さま  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 >> 📄  
証券代行部テレホンセンター ☎️ 0120-094-777